

新编中药炮制法

(增订本)

马兴民 编著



封面题字 王天任
封面篆刻 方 胜
封面设计 高尚德

新编中药炮制法

(增订本)

马兴民 编著

陕西科学技术出版社出版

(西安北大街 131 号)

陕西省新华书店发行 七二二六工厂印刷

开本 787×1092 1/32 印张 28.25 插页 5 字数 500,000

1980 年 8 月第 1 版 1984 年 8 月第 2 版第 4 次印刷

印数 14,001—18,500

统一书号: 14202·8 定价: (平) 3.40 元

再 版 前 言

中药炮制是祖国医学宝贵遗产的重要组成部分，它是在临床用药基础上发展起来的传统制药技术。

《新编中药炮制法》一书，自1980年出版发行以来，受到广大读者的关怀和爱护，从全国各地纷纷来信予以赞扬，有的在信中提出修订再版的建议，这是对我的支持和鼓励。

这次再版，主要根据广大读者的意见，参考本省和外地对中药炮制研究的先进技术，并结合自己在炮制中药实践过程中的经验，对原节中的一些提法和个别品种，进行了修改和充实。对每味药物，除原来介绍的炮制方法、炮制理由，成品鉴别，来源，成分，贮藏，性味，功能，主治，用量与用法外，还增加了历代有关中药炮制的文献记载，作用等部分。同时，将第一版中常用中药品种，由四百六十味，增加到五百一十八味。并对一些品种的炮制理由，提出了自己的见解。以供广大中医药人员，中医药院校和各级卫生学校师生，农村医生阅读参考。

编 者

一九八三年五月
于陕西省中医研究院

目 录

总 论

第一节 中药炮制的 定义和发展 简史 …… (1)	关系 …… (9)
第二节 中药炮制的意义 和目的 …… (5)	1. 炮制对含生物碱类 药物的影响 …… (9)
第三节 炮制对药物性能 的影响 …… (7)	2. 炮制对含甙类药物 的影响 …… (10)
一、炮制与药性的 关系 …… (7)	3. 炮制对含挥发油类 药物的影响 …… (11)
1. 炮制与四气五味的 关系 …… (7)	4. 炮制对含树脂类药 物的影响 …… (12)
2. 炮制与升、降、沉、 浮的关系 …… (8)	5. 炮制对含有机酸类 药物的影响 …… (12)
3. 炮制对药物归经的 影响 …… (8)	6. 炮制对含油脂类药物 的影响 …… (13)
二、炮制对中药制剂的 影响 …… (8)	7. 炮制对含鞣质类药物 的影响 …… (13)
三、炮制与药物成分的	8. 炮制对含多糖类药 物的影响 …… (14)
	9. 炮制对含蛋白质、氮

基酸类药物的 影响·····	(14)
10.炮制对含无机 成分药物的 影响·····	(15)
第四节 中药炮制的 辅料·····	(16)

第五节 炮制的方 法·····	(21)
一、修制·····	(21)
二、切制·····	(27)
三、火制法·····	(35)
四、水火共制法·····	(40)
五、其它制法·····	(41)

各 论

第一节 根及根茎类 (43)	川木香·····	(109)
人 参·····	广木香·····	(111)
大 黄·····	青木香·····	(113)
土大黄·····	乌 药·····	(114)
党 参·····	川贝母·····	(116)
太子参·····	浙贝母·····	(118)
西洋参·····	川 芎·····	(120)
红大戟·····	藁 本·····	(122)
京大戟·····	三 棱(附:荆三 棱)·····	(123)
商 陆·····	蓬莪术·····	(126)
山豆根(附:北豆根)·····	三 七·····	(127)
板蓝根·····	土贝母·····	(129)
川 乌·····	三颗针·····	(130)
草 乌·····	山慈菇·····	(131)
关白附·····	丽江山慈菇·····	(132)
雪上一枝蒿·····	山 柰·····	(134)
附 子·····	千年健·····	(135)
怀牛膝·····	狗 脊·····	(136)
川牛膝·····		

威灵仙	(138)	白 芍	(188)
秦 艽	(139)	赤芍药	(192)
续 断	(140)	白 薇	(194)
石菖蒲	(142)	白头翁	(195)
白菖蒲	(143)	白 前	(196)
九节菖蒲	(145)	白 薇	(198)
干 姜	(146)	天花粉	(198)
生 姜	(148)	玉 竹	(201)
广防己	(150)	玄 参	(203)
防 己	(151)	白 芨	(204)
天门冬	(152)	白茅根	(205)
麦门冬	(153)	芦 根	(207)
天南星	(155)	白药子	(209)
半 夏	(159)	甘 草	(210)
禹白附	(165)	甘 遂	(213)
水半夏	(166)	白 芷	(217)
天 麻	(168)	防 风	(218)
升 麻	(170)	甘 松	(220)
葛 根	(171)	龙胆草	(221)
丹 参	(173)	北沙参	(223)
茜 草	(175)	南沙参	(224)
巴戟天	(176)	生地黄	(225)
仙 茅	(178)	熟地黄	(227)
土茯苓	(179)	华山参	(237)
山 药	(180)	地 榆	(234)
牛血蓼	(183)	当 归	(237)
白 术	(184)	何首乌	(240)
苍 术	(186)	百 合	(243)

百 部	(245)
远 志	(247)
桔 梗	(249)
紫 菀	(251)
知 母	(253)
羌 活	(255)
独 活	(256)
徐长卿	(258)
泽 泻	(260)
苦 参	(261)
延胡索	(263)
郁 金	(268)
天葵子	(269)
香 附	(270)
姜 黄	(273)
柴 胡	(275)
银柴胡(附:山银柴胡)	(280)
前 胡	(281)
射 干	(284)
金果榄	(285)
蚤 休	(286)
贯 仲	(289)
骨碎补	(290)
高良姜	(292)
麻黄根	(293)
狼 毒	(294)
常 山	(296)
黄 连	(298)

黄 芩	(303)
黄 芪	(307)
黄 精	(309)
菟 丝	(311)
紫 草	(312)
萱草根	(314)
漏 芦	(316)
薤 白	(318)
藕 节	(317)

第二节 果实种

子类	(318)
八角茴香	(318)
茴 香	(320)
胡 椒	(321)
大腹皮	(322)
大 枣	(323)
龙眼肉	(325)
木蝴蝶	(326)
槟 榔	(327)
大风子	(331)
大豆黄卷	(332)
山茱萸	(334)
五味子	(335)
女贞子	(338)
山 楂	(339)
川楝子	(342)
马钱子	(344)
木鳖子	(349)

千金子	(350)	红豆蔻	(384)
天仙子	(352)	白豆蔻	(385)
马兜铃	(354)	砂 仁	(386)
马蔺子	(355)	草 果	(388)
牛蒡子	(356)	草豆蔻	(400)
白芥子	(358)	佛手柑	(401)
白 果	(360)	香 椿	(403)
浮小麦	(361)	橘 皮	(404)
王不留行	(362)	青 皮	(406)
巴 豆	(364)	化橘红	(408)
蓖麻子	(367)	枳 壳	(409)
牵牛子	(368)	枳 实	(411)
火麻仁	(369)	革澄茄	(412)
郁李仁	(371)	革 茛	(413)
木 瓜	(372)	吴茱萸	(414)
母丁香	(373)	地肤子	(416)
桂 子	(374)	瓜 蒂	(417)
车前子	(374)	甜瓜子	(418)
赤小豆	(376)	枳棋子	(419)
相思子	(377)	丝瓜络	(420)
冬瓜子	(378)	苍耳子	(421)
冬瓜皮	(379)	水红花子	(423)
冬葵子	(381)	风眼草	(424)
扁 豆	(382)	沙苑子	(425)
粟 芽	(383)	刺蒺藜	(426)
麦 芽	(384)	补骨脂	(428)
谷 芽	(389)	胡芦巴	(430)
肉豆蔻	(391)	菟丝子	(431)

楮 实	(433)
皂 荚	(434)
猪牙皂	(435)
莲 子	(437)
莲子心	(438)
莲 房	(439)
河 子	(440)
连 翘	(442)
花 椒	(444)
椒 目	(445)
使君子	(446)
石榴皮	(448)
乌 梅	(449)
鸦胆子	(452)
榧 子	(453)
鹤 虱	(454)
决明子	(455)
芡 实	(457)
金樱子	(458)
槐 角	(460)
酸枣仁	(461)
柏子仁	(464)
蔓荆子	(465)
苦杏仁	(467)
甜杏仁	(472)
桃 仁	(473)
紫苏子	(474)
韭菜子	(476)

葶苈子	(477)
枸杞子	(478)
桑 椹	(480)
复盆子	(481)
益智仁	(482)
蕤苳仁	(484)
莱菔子	(485)
荔枝核	(487)
橘 核	(488)
栝 楼	(490)
栝楼子	(491)
栝楼皮	(493)
梔 子	(494)
罂粟壳	(496)

第三节 全草类 (498)

一年蓬	(498)
一叶萩	(499)
一枝黄花	(500)
千里光	(502)
大 蓟	(503)
小 蓟	(505)
羊红膻	(506)
十大功劳	(507)
马鞭草	(508)
马齿苋	(509)
木 贼	(510)
车 前	(511)
凤尾草	(512)

石斛	(513)	鵝不食草	(550)
仙鶴草	(515)	虎耳草	(551)
半枝蓮	(517)	魚腥草	(552)
半边蓮	(518)	紫花地丁	(553)
龙 葵	(519)	蒲公英	(554)
白花蛇舌草	(521)	青 蒿	(555)
尋骨風	(522)	茵 陳	(557)
灯心草	(523)	金錢草	(558)
老顴草	(524)	浮 萍	(560)
透骨草	(525)	益母草	(561)
刘寄奴	(526)	繡 葦	(563)
葛頭回	(527)	藕 薹	(564)
问 荆	(528)	瞿 麥	(565)
墨旱蓮	(529)	鹿衔草	(566)
伸筋草	(530)	第四节 叶类	(568)
卷 柏	(531)	人參叶	(568)
泽 兰	(532)	大青叶	(569)
佩 兰	(533)	艾 叶	(570)
细 辛	(534)	石 苇	(571)
香 薷	(536)	石楠叶	(573)
荆 芥 (附: 荆芥 穗)	(537)	侧柏叶	(574)
麻 黄	(540)	枇杷叶	(575)
紫 苏 (附: 紫苏 梗)	(543)	罗布麻叶	(577)
薄 荷	(546)	桑 叶	(578)
藿 香	(547)	荷 叶 (附: 荷梗、 荷蒂)	(579)
败 酱	(549)	淫羊藿	(580)
		淡竹叶	(583)

苦竹叶	(584)	凌霄花	(619)
番泻叶	(585)	葛 花	(619)
紫苏叶	(586)	第六节 皮 类	(620)
第五节 花 类	(587)	五加皮	(620)
丁 香	(587)	合欢皮	(621)
合欢花	(588)	肉 桂	(622)
月季花	(589)	地骨皮	(624)
玳玳花	(590)	杜 仲	(625)
红 花 (附: 藏红 花)	(591)	牡丹皮	(628)
辛夷花	(593)	苦楝皮	(630)
芫 花	(595)	厚 朴	(631)
鸡冠花	(597)	桑白皮	(633)
金银花	(598)	秦 皮	(635)
玫瑰花	(599)	海桐皮	(637)
闹羊花	(600)	白鲜皮	(638)
洋金花	(601)	川楝皮	(639)
厚朴花	(602)	紫荆皮	(640)
夏枯草	(603)	香加皮	(641)
菊 花	(605)	黄 柏	(642)
密蒙花	(607)	棕 桐	(645)
腊梅花	(608)	栲白皮	(648)
款冬花	(609)	第七节 藤木类	(650)
旋复花	(611)	木 通	(650)
蒲 黄	(612)	竹 茹	(651)
槐 花	(614)	怪 柳	(653)
槐 米	(617)	沉 香	(654)
莲 须	(618)	皂角刺	(655)
		苏 木	(656)

忍冬藤	(657)	紫梢花	(693)
鸡血藤	(658)	九香虫	(694)
夜交藤	(659)	五灵脂	(695)
降真香	(660)	牛 黄	(697)
钩 藤	(661)	马 宝	(699)
桂 枝	(663)	水 蛭	(700)
桑 枝	(665)	蜜 虫	(701)
桑寄生	(666)	瓦楞子	(702)
檀 香	(667)	海螵蛸	(703)
肉苁蓉	(668)	石决明	(704)
锁 阳	(670)	白僵蚕	
通 草	(672)	(附：僵蛹)	(706)
青风藤	(673)	乌 蛇	(708)
络石藤	(673)	白花蛇	(709)
第八节 树脂类	(675)	蛇 蜕	(711)
安息香	(675)	地 龙	(713)
芦 荟	(676)	全 蝎	(714)
苏合香	(678)	蝉 蜕	(716)
干 漆	(679)	红娘子	(717)
儿 茶	(680)	斑 蝥	(719)
血 竭	(681)	青娘子	(722)
没 药	(682)	龟 板	
乳 香	(684)	(附：龟胶)	(723)
阿 魏	(687)	鳖 甲	(726)
松 香	(688)	杜 蛸	(728)
琥 珀	(690)	阿 胶	(729)
藤 黄	(691)	鸡内金	(731)
第九节 动物类	(693)	虎 骨	(733)

豹 骨 (736)
 刺猬皮 (737)
 夜明砂 (738)
 鱼 鳔 (739)
 珍 珠 (741)
 珍珠母 (743)
 玳 瑁 (744)
 虻 虫 (746)
 壁 钱 (747)
 蜈 蚣 (748)
 蛤 蚧 (749)
 紫贝齿 (751)
 穿山甲 (753)
 海 马 (754)
 海 龙 (756)
 海蛤壳 (757)
 桑螵蛸 (758)
 蚕 砂 (759)
 鹿 茸 (761)
 鹿 角 (763)
 鹿角胶 (765)
 鹿角霜 (767)
 鹿 肾 (768)
 望月砂 (769)
 羚羊角 (770)
 犀 角 (772)
 水牛角 (773)
 紫河车 (775)

象 皮 (776)
 蜈 蚣 (778)
 露蜂房 (779)
 蜂 蜡 (781)
 熊 胆 (782)
 麝 香 (783)
 蟾 酥

(附：干蟾)..... (784)

脐 带 (788)
 黄狗肾 (789)
 海狗肾 (790)
 血余炭 (791)

第十节 矿物类 (793)

云 母 (793)
 龙 骨 (794)
 龙 齿 (796)
 白石英 (797)
 紫石英 (798)
 礞 石 (800)
 白 矾 (802)
 石 膏 (804)
 寒水石 (806)
 石 燕 (807)
 石 蟹 (809)
 代赭石 (810)
 玄精石 (811)
 芒 硝(附：玄
 明粉) (812)

朱砂	(814)	猪苓	(851)
阳起石	(816)	雷丸	(852)
自然铜	(817)	狼耳	(853)
赤石脂	(820)	第十二节 其它类	(854)
针砂	(822)	五倍子	(854)
绿矾	(823)	天竺黄	(856)
铁落	(824)	半夏曲	(857)
礞石	(825)	冰片	(858)
蛇含石	(826)	红曲	(859)
禹余粮	(827)	青黛	(860)
花蕊石	(828)	没食子	(861)
炉甘石	(830)	神曲	(862)
胆矾	(832)	建曲	(865)
钟乳石	(833)	秋石	(867)
金精石	(835)	紫草茸	(868)
砒石	(836)	淡豆豉	(869)
海浮石	(837)	西瓜霜	(870)
铜绿	(838)	竹沥	(871)
雄黄	(839)	蛋黄油	(872)
硫黄	(840)	黑豆馏油	(873)
滑石	(842)	附录:	
第十一节 菌藻类	(843)	一、中药调剂	
马勃	(843)	须知	(874)
冬虫夏草	(844)	二、炮制法中的古老	
昆布	(846)	计时法	(875)
海藻	(847)	三、中药索引	(880)
茯苓(附:茯苓皮)	(848)	四、本书主要参考书目	(890)

总 论

第一节 中药炮制的定义和发展简史

中药炮制，是指药材根据医疗、调剂和制剂的需要，在防病治病上发挥更好的疗效的工艺加工处理方法。

中药炮制的起源，是在古人发现“火”以后，应用熟食开始的，以后随着社会生产力的发展而发展。早期常见的是对有大毒的药材，进行炮制。如《内经》及《伤寒论》中所记载的炮制药物，多系剧毒药，即是明证。

药物炮制的起源，最早是为了减低药材的毒性，但随着历史的进展，科学技术的发达，特别是医疗水平日益发展的要求，它的内容也随之丰富起来，而与之相应的炮制方法和操作技术也逐渐完善。

相传商代伊尹是汤液的创始人，伊尹善于蒸调液汤，当然也会炮制药物，所以《汉书》艺文志记载汤液经法 32 卷，包含有药物炮制的知识。

现今所能了解古代对药物炮制的知识，主要是从《证类本草》经文得知一部分。虽然《神农本草经》所讲的某些炮制，是为着炼丹服食而来炮制的。但在其序例中，已提到以医疗为目的，如“药有毒无毒、阴干暴干，采造时日，土地所出，真伪陈新，并各有法”。所谓“各有法”，就是包含

有炮制的内容。

关于炮制最早的记载，除《神农本草经》外，亦见于《灵枢经》邪客篇的“秫米半夏汤”即已注明用“治半夏”。此外，《左传》宣公12年，就有“麦曲”的记载。麦曲和半夏，都是要经过炮制的。所以，炮制学早在战国时，就有记载。

（一）汉代：由于炮制的经验积累，使炮制知识逐渐丰富，这可以由张仲景著作中探知，他在《金匱玉函经》一书里指出，药材“有须烧炼炮制，生熟有定，一如后法，或须皮去肉，或去皮须肉，或须根……，依方拣采治削，极冷净洁”。这些记载，初步反映了炮制的基本内容，后世在内容上虽日益繁复，但仍脱离不了“生熟”、“治削”和“净洁”等基本范围。

汉代的炮制法，多见于处方药味脚注，如麻黄去节，半夏洗，附子炮等。炮制的品种数量还不很多。

（二）魏晋南北朝：药物的炮制重点，已移到药性的处理。这一方面，以《雷公炮制论》为代表，该书总结了当时炮制的成就，阐述的药物炮制方法较为完善。药物整洁修拣方面的处理，在以前的基础上，增添了飞、镑、暴等方法。在药物性质改变的处理上发展更大，如浸，即分水浸，盐水浸，蜜水浸，浆水浸，药汁浸，米泔汁浸，酒浸，醋浸等，在火制法上，发展了炒、煨、煅。其中，制法即分为蜜制，酥制，酥蜜制，猪胆制，黄精自然汁涂制。在水火共制上，增添蒸、煮等法，表明了这时的方法较多而细致。

（三）唐代：唐代在炮制方面作了专章的讨论，在学术上逐渐形成体系，在整个炮制发展过程中，是一个重要的历

史阶段。孙思邈著《备急千金要方》指出，“诸经方用药，所有熬炼节度皆脚注之，今方则不然，于此篇具条之，更不烦方下别注也。”在合和篇里，列举炮制相同之品，分条述之，如“凡用麦蘖曲米，大豆黄卷，泽兰、茺莢皆微炒。”“凡用斑蝥等诸虫，皆去足翅微熬……”。这种归纳方式，为后世总结炮制方法，打下了基础。

唐代《新修本草》，也很重视炮制。从现存的残卷来看，它对炼丹的技术，对玉石、玉屑、丹砂、云母、石钟乳、矾石、硝石等矿物药，均有炮制的记载，使炮制内容比前为广泛。

（四）宋、金、元时代：宋代在炮制方面，发展较快，《经史证类备用本草》首先采纳了雷敩的著作内容，使本草学的内容更加完善。《太平惠民和剂局方》列有专章讨论药材加工技术，对炮制加工技术作了较详细的叙述，并将炮制列入法定的制药范围，对保证药物质量的规格起了很大的作用。

这一时期的特点，最突出的是在炮制理论方面的发展。李东垣《用药法象》说：“黄芩、黄连、黄柏、知母，病在头面及手梢皮肤者，须用酒炒之，借酒力以上腾也。咽之下，脐之上，须酒洗之，在下生用……。”

（五）明代：明代在宋的基础上，又向前发展了一步，这一时期的本草书籍，如陈嘉谟的《本草蒙筌》和李中梓《本草通玄》均对炮制理论作了系统归纳。陈嘉谟指出：“制药贵在适中，不及则功效难求，太过则气味反失。火制四：煅、炮、制、炒也。水制三：渍、泡、洗也。水火共制：煮、蒸二者焉。造法虽多，不离于此。酒制升提，姜制发散，入盐走肾而软坚，醋制入肝经，而且能够增强镇痛作用，童便